2025年４月14日

各　位

会社名　　株式会社エルテス
代表者名　代表取締役社長　　菅原　貴弘
（コード番号：3967　東証グロース）
問合せ先　経営戦略本部 本部長 田中　英樹
（TEL. 03-6550-9280）

通期業績予想と実績値の差異及び特別損失の計上並びに法人税等調整額の計上に関するお知らせ

当社は、2025年２月期（2024年３月1日～2025年２月28日）連結会計期間において、特別損失と法人税等調整額を計上するとともに、2025年４月１日に公表した2025年２月期の通期連結業績予想と、本日公表の実績に差異が生じましたので、以下のとおりお知らせいたします。

１．特別損失の計上及びその内容

当社連結子会社である株式会社メタウンにおける、2025年２月期の実績と当初想定していた事業計画の乖離状況を踏まえ、事業計画について慎重に検討した結果、649百万円の特別損失（のれんの一部を減損損失）を計上することとしました。なお、当初想定していた事業計画との乖離要因は、2025年４月１日に公表した「通期業績予想の修正に関するお知らせ」でも開示の通り、一部オーナーの物件売却等が発生する中で、営業人員の不足により新規管理物件の獲得が大きくは進まなかったことも重なり、大幅な管理物件数の減少が発生したことでございます。これらに対して、収益不動産の売買を通じた管理物件の獲得を進めるべく専門の不動産売買チームを組成し、不動産売買取引からの収益拡大を計画しておりましたが、不動産売買を専門とする人員の採用に遅れが生じるなど、不動産売買事業が想定通りに進捗しておりませんでした。

また、当社連結子会社である株式会社JAPANDXが、自治体に展開している「DX-Pand（デクスパンド）」について、新地創交付金への制度変更に伴い、大幅な機能拡張と仕様の変更が生じ、事業計画の見直しを行った結果、連結決算において、99百万円の特別損失（固定資産の減損損失）を計上することとなりました。

２．法人税等調整額の計上及びその内容

前連結会計年度において、繰延税金資産の回収可能性を判断する際の企業分類を変更したことにより、前連結会計年度は法人税等調整額が利益方向に大きく増加しておりました。一方で、当連結会計年度では、税務上の資産調整勘定の償却が進み、これが繰延税金資産を取り崩す方向に作用したため、法人税等調整額が費用方向に72百万円増加いたしました。

３．当期の連結業績予想数値の差異（2024年３月１日～2025年２月28日）

	売上高	EBITDA	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	7,200	660	100	75	未定	未定
今回実績額（B）	7,317	608	93	68	△860	△142.61
増 減 額（B－A）	117	△51	△6	△6	－	－
増 減 率（　％　）	1.6	△7.8	△6.7	△8.2	－	－
（参考）前期通期連結実績（2024年２月期）	6,535	557	182	143	257	42.65

４．差異の理由

2025年４月１日に公表した「通期業績予想の修正に関するお知らせ」で開示の通り、親会社株主に帰属する当期純利益については、のれん等の評価、税効果会計等の影響額を確認中のため、未定としておりました。特別損失等を計上したことで、親会社株主に帰属する当期純利益は△860百万円となりました。

以　上